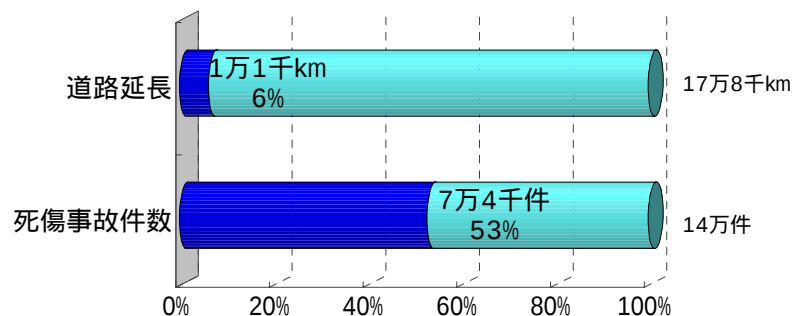


幹線道路における交通事故対策の重点実施

． 幹線道路における交通事故

我が国の交通事故は、死者数は減少しているものの死傷事故件数は増加しており、平成 15 年は 947,993 件と過去最悪を記録している。

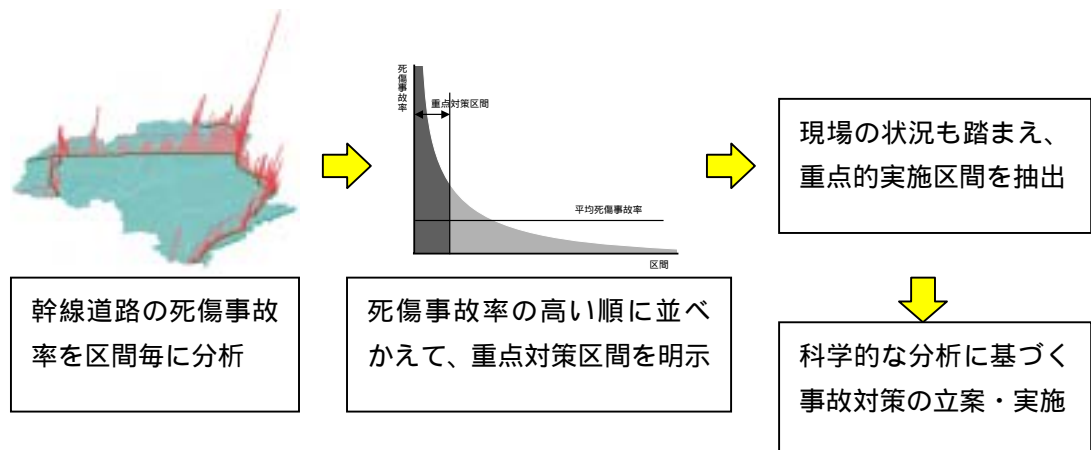
そのうちの半数は幹線道路において発生しているが、幹線道路（単路部）では 6 %の区間に 53%の事故が集中しており、こうした区間において重点的に事故対策を実施することが重要となっています。



〔 幹線道路（単路部）における交通事故発生状況 〕

． 優先度明示方式の導入

このため、国土交通省では、来年度から優先度明示方式〔死傷事故率の高い区間を順に並べて、優先的に事故対策をすべき区間を明示する方式〕を導入し、より効果的・効率的な事故対策を推進することとしております。



． 科学的な分析に基づく事故対策の推進

事故対策の立案・実施にあたっては、科学的な分析に基づく事故対策を推進するため、「交通事故対策・評価マニュアル」及び「交通事故対策事例集」を活用することとしております。

- 1 . 「交通事故対策・評価マニュアル」（p.2 参照）
- 2 . 「交通事故対策事例集」（pp.3-4 参照）

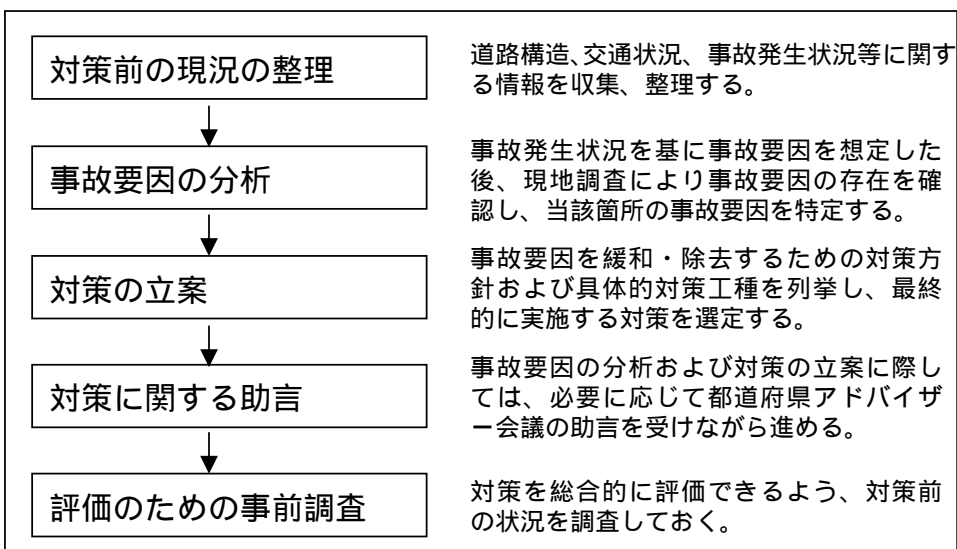
1. 「交通事故対策・評価マニュアル」

「交通事故対策・評価マニュアル」は、事故多発地点緊急対策事業等これまでの事故対策の結果をもとに、対策の立案から評価までの手順や留意点等を体系的にまとめたものです。

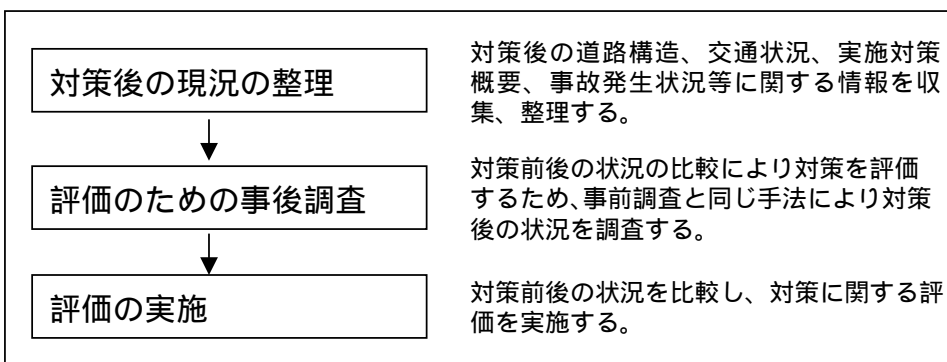
本マニュアルに記載されている手順や留意点等を参考に、事故対策の立案・評価を行い、より効果的な事故対策、適切な対策効果の評価を実施します。

「交通事故対策・評価マニュアル」で示す事故対策の手順等

(1) 対策の立案



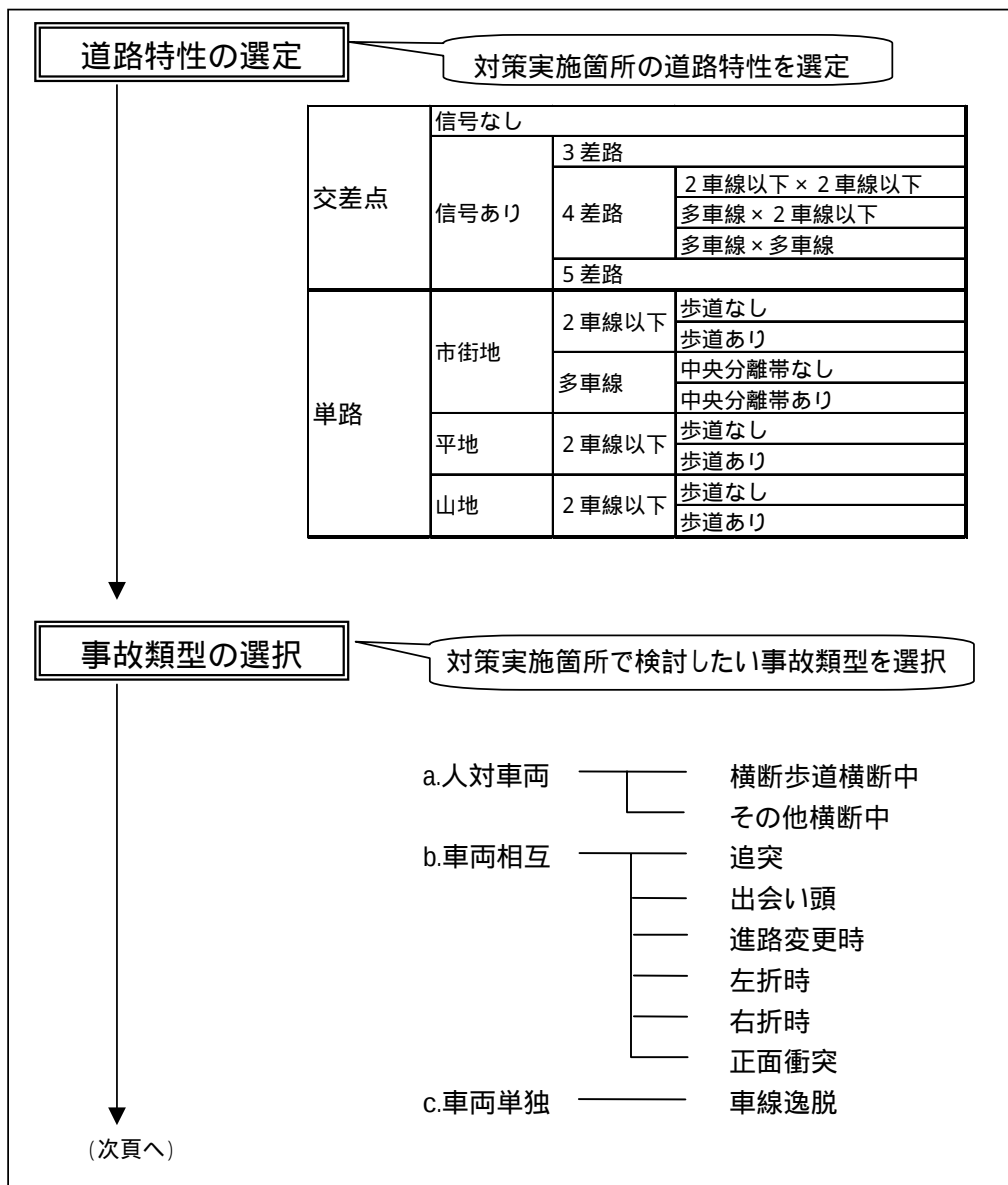
(2) 対策の評価



2. 「交通事故対策事例集」

「交通事故対策事例集」は、事故多発地点のうち557箇所における事故要因分析結果、事故対策事例を収集し、道路特性や事故類型毎に、事故要因ならびにそれに対応した事故対策について分析し、その結果を事例集としてまとめたものです。

本事例集を参考に、現地状況に応じた事故対策の検討を行い、現地状況に対応した効果的な事故対策を実施します。



(前頁より)

事故要因の抽出

事故要因一覧表を用い、対策実施箇所の道路特性と事故類型に応じて事故要因を抽出

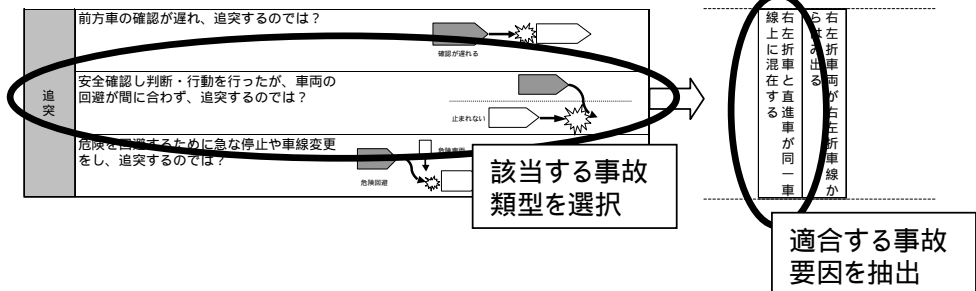
事故要因一覧表

(例)：道路特性「交差点 - 信号あり - 4差路 - 多車線×多車線」

事故類型

事故の発生状況

事故類型に対応する事故要因の一覧



対策の立案

事故要因に対応した対策の一覧の中から、対策実施箇所に適合する対策を選択

対策一覧表

(例)：道路特性「交差点 - 信号あり」

事故要因

事故類型に対応する事故要因の一覧

